

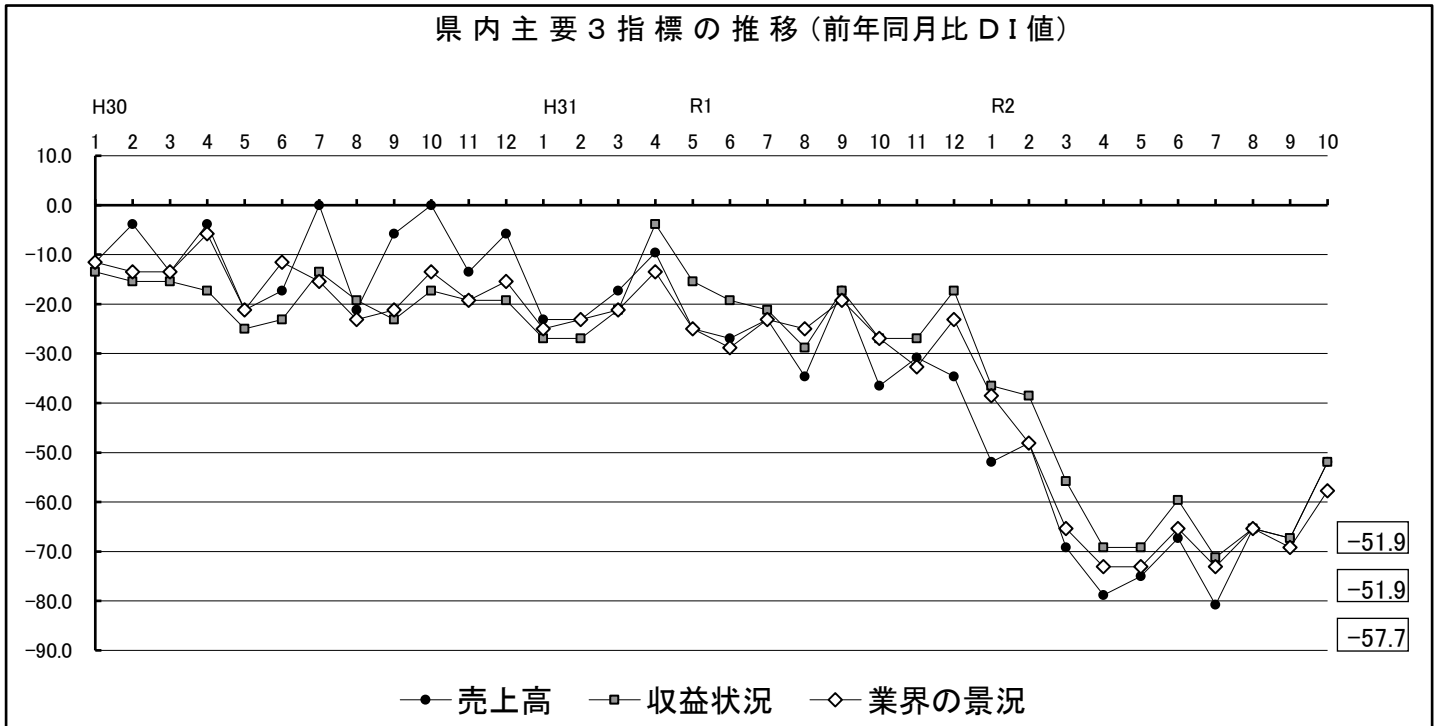
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年10月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標全てが上昇、しかし依然として新型コロナウイルスの影響が全業種に及んでいる。
- 「繊維」「印刷」「運輸業」は主要3指標が-100ポイント。その他業種でも厳しさが続いている。
- 各種経済対策の恩恵から、一部に期待は高まるが、冬に向け感染拡大の懸念も広がりつつある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-51.9	15.4	-44.4	16.8
収益状況	-51.9	15.4	-48.0	10.7
業界の景況	-57.7	11.5	-53.9	7.8

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より15.4ポイント上昇し、-51.9ポイントとなった。全国においては、前月より16.8ポイント上昇し、-44.4ポイントとなった。

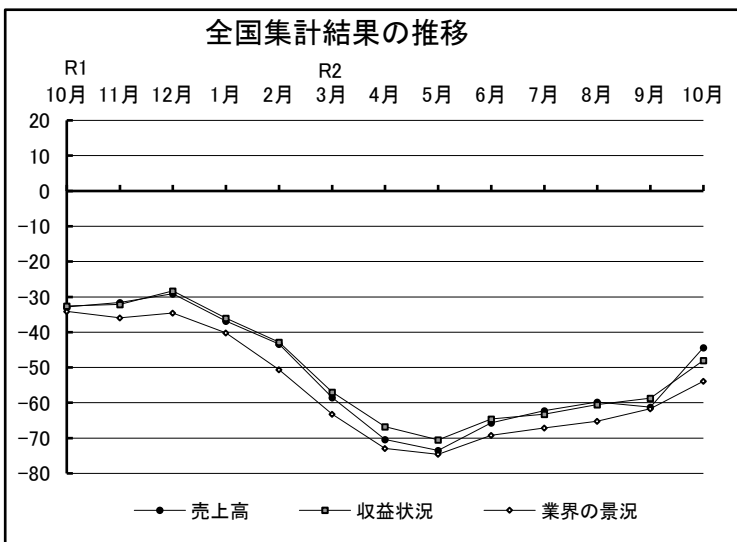
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より15.4ポイント上昇し、-51.9ポイントとなった。全国においては、前月より10.7ポイント上昇し、-48.0ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より11.5ポイント上昇し、-57.7ポイントとなった。全国においては、前月より7.8ポイント上昇し、-53.9ポイントとなった。

全国集計結果の推移



特記事項

情報連絡員報告（令和2年10月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	ここにきて、国又県等による様々な政策が実行され、消費や観光地にも人の動きが見られている。一時的でないことを祈る。今後においても引き続きの対応を期待したい。
あん類製造業	イベントや集まり等がほぼないためその部分でのマイナスはあるが、観光業が上向いているためお土産が動き、業界として少しずつ良くなってはきている。
縫製業	昨年の50%以下の生産数でロット数も少なくなり、頼みの新型コロナウイルス対策の防護服も終わりになり、先の見通しが立たない状況である。
染色整理業	新型コロナウイルスによる影響がまだ続いており、経営の安定性に欠ける。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	本格的なシーズンに入ったが、依然先行きは不透明である。春夏物の動向も小さいと予想している取引先が多く、工場の稼働状況も寂しい状況である。今月末には当組合も都内展示会に出展予定だが、例年に比べ出展企業も少なく、コロナ禍で感染予防対策を取りながら、どれだけ集客できるか、主催者側も対応に苦慮しているようだ。
一般製材業	昨今の新型コロナウイルスの影響により、業界全体の景況感としては悪化をしていると思われる。
家具・建具製造業	業況は持ち直し傾向が見られるが、依然厳しい状況が続いている。今季赤字転落となる事業所が相当数発生するものと思われる。
建具製造業	需要期に入り、多少仕事も動いてきた感もあるが、前年比マイナスの推移が続いている。
印刷業	受注減少が続いている。他の業界と比べても落ち込みが顕著であり、今後もこの減少傾向は続くと考えられる。売り上げを維持し向上する努力が必要かと思われる。
石灰製造業	鉄鋼向けは、相変わらず減産傾向であるが、去年は台風の影響で出荷減であったため、数量からすると、ほぼ例年並み。肥料関係は、9月分の時期ずれにより出荷増となった。建材関係は、ほぼ前年並みに推移。全体では、昨年出荷数量と比較するとほぼ昨年並みの状況である。
碎石製造業	令和2年度上期（4月～9月）の出荷量は7,908,592トンであり、昨年同期比で6.0%増加している。
金属製品製造業	自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも新型コロナウイルス、売上低下、人件費増加、人手不足により低下した。
一般機械器具製造業	今月も売上高の減少により収益状況悪化が継続中である。組合員企業格差はあるものの現状としては一時的に回復の兆しがみられる。本年末に向け操業度低下により収益状況悪化懸念はあるが、国等には引き続き今後の動向に注視し適切な対応を期待している。
一般機械器具製造業	先月から生産活動に若干の回復がみられるものの、冬場に向け新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、引き続き厳しい経営が強いられている。
一般機械器具製造業	自動車関連は若干持ち直しの兆しが出てきたが、建機関係はまだまだ先に感じる。介護については、余剰人員が増えてきたようで人手不足感は薄いである。
各種商品卸売業	新型コロナウイルスの影響を大きく受けていた企業も企業努力や取引業界の状況改善により若干回復の傾向がみられる。全体として厳しい状況は続いている。組合会館会議室の利用状況は、前年同月以上の利用があり大きく改善してきた。
食肉小売業	G o T o キャンペーン効果で、好調に推移しており80%位まで戻った状況である。

中古自動車小売業	<p>昨年は消費税アップの影響もあり、落ち込んだ月であった。前年同月との対比では、そこそこの状況であると思われる。新型コロナウイルス対策で3密を避けての移動で自家用車の需要が上ったり、即納・安価の中古車が見直されて良いとの情報があるが都市部だけのようにも思える。</p>
各種商品小売業	<p>10月期も大変に厳しい期であった。前年同月比で20%ぐらい落ち込んだようだ。GoToイートに少し期待をしている。物販店の回復はなかなか厳しい状況である。</p>
各種商品小売業	<p>先月まで大幅な前年割れが続いていたが、ようやく前年水準まで回復した。しかし、昨年10月は台風による水害等で大幅に売上が落ち込んだ月であり、売上高としてはまだまだ戻っていない。冬に再び新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念され、危機的状況はまだ続く。</p>
花・植木小売業	<p>高冷地から暖地へと産地の切り替え時期もあり、婚礼や葬儀などの業務需要を中心とする商材の入荷が少なく、全体的に前年比で高値推移となった。秋以降に延期した婚礼を含め、出席人数を減らすなど招待者に配慮した形で式を挙げるカップルが増えてきている。</p>
理容業	<p>感染症対策セミナーを支部役員向けに実施した。ソーシャルディスタンスを考え、全員へ声をかけられなかったが、今後、支部から一般の組合へも広めていければと思う。また、対策を十分に行っている店舗ということで、店舗からよく見える場所に、ポスター等を掲示して行ければと思っている。</p>
自動車整備業	<p>売上高は減少傾向が続いている。冬タイヤの時期に入り設備操業度は上昇しているが、前年対ではやや低下の幅が大きい。</p>
旅館・ホテル	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、宿泊は前年対比70%まで戻ってきたが、アベレージは1,000円以上下がったままであり、GoToトラベルの恩恵については、都市部のホテルはビジネス需要が戻らなければ厳しい状況である。宴会は95%ダウン。飲食店は40%ダウン。</p>
ビルメンテナンス業	<p>宅配関係の庫内請負業務が増収となる一方で、人件費や外注費の支出が大幅に増加し、減益となった。新型コロナウイルスの影響でエアコン洗浄業務が増えている。</p>
給食センター	<p>売上高は、新型コロナウイルスの影響で、依然として昨年度より減少であるが、新規事業を開始したため、今月は少し回復した。雇用の確保、事業の継続をするためのキャッシュフローは、国・県の制度融資でなんとかなっているが、新型コロナウイルスが終息せず、このまま続けば収益・資金も危うい。</p>
内装工事業	<p>徐々にではあるが景気も回復しつつあるように思われるが、その動きは依然鈍く厳しい状況にある。</p>
一般貨物自動車運送業	<p>先月よりも更に資金繰りが難しくなっている。税金の支払いが滞りがちになりそうなので、相談に行った。役員報酬も2ヶ月支払う事ができていない。このままでは倒産しそうである。</p>
貨物軽自動車運送業	<p>県内の動きは低調であり、先月との変化はあまりみられない。県内や同じ市内など、短い距離の引越し依頼が多くよせられた。巣ごもり需要を狙って、軽貨物事業を開業する企業が多く、この数ヶ月での登録数も多い。一過性のもので、時間とともに淘汰されていくであろうが、本組合でも年末までに数名の新規組合員が開業予定の為、不安の中でのスタートであるからこそ、組合本部からのサポートをしっかりと対応していきたい。</p>
一般乗用旅客自動車運送業	<p>大変な状況が続いている。対前年同月で、50%強の売上状況である。今後、寒さが増すにつれ、新型コロナウイルスの状況が非常に気になる場所である。</p>
大谷石採石業	<p>需要が少ない状況は変わらない。</p>